



輝キラ人 第139回



ワイヤーとビーズを使い
色彩豊かなインテリア雑貨などを制作する
マールアート マイスター

松橋 京子 さん

まつはし・きょうこ 73歳 〓刈屋〓

昭和26年生まれ。夫と2人暮らし。海運業に従事していた夫の転勤により、横浜、神戸、金沢などさまざまな都市で暮らしたが「天津(中国)での生活は、旅行や食事も含めて思い出深い」と微笑む。売りに出していたログハウスに惹かれ、平成21年に本市に移住。手芸と自宅前の庭いじりが趣味。好きな言葉は「感謝」。

冬の窓辺をマールアートで色彩豊かに

「工夫次第で自分だけのオリジナル作品を作り上げることができてとても楽しい」と

声を弾ませるのは、自在に曲げたアルミなどのワイヤーとビーズを組み合わせたマールアート作品づくりに取り組み松橋京子さん。自宅に飾られた作品の、落ち着いた華やかさが目を惹く。

大槌町出身の松橋さん。同郷の夫の転勤に伴い、国内外のさまざまな都市で暮らしたが、退職後は岩手に戻ろうと移住先を探中、売りに出していた物件が気に入り、平成21

年に本市に居を構えた。

移住後、友人の紹介で、岩手生まれのクラフトであるマールアートの存在を知ると、色鮮やかな作品に魅かれ「自分も、長い冬の窓辺をキラキラ飾りたい」と教室に通い始めた。「最初はワイヤーを上手く扱えず苦労しましたが、制作を繰り返すうちに出来上がり

の過程を楽しめるようになりました」と当時を振り返る。2年半ほど教室に通い、制作指導や販売技能を有する証である「マールアートマイスター」の資格を取得。習った基

本を応用し、花などの他さんさ踊りなど催事の様子もモチーフに、デザイン性の高いインテリア雑貨の制作に取り組んできた。「すぐくすてきな花

ざつと取っておきますね」とお客さんから掛けられた言葉は今も心に残っているという。自身の作品制作に加え、月一回、体験教室を開いており、「難しいと言いつつも、自分で完成させた作品を見て『素敵だね』と喜んでくれる参加者の姿がうれしい」と目を細める。また、マールアートを広く知ってもらおうと作品づくり

の場「サークルK」を立ち上げ、5年ほど前からメンバーと一緒に市芸術祭にも出展している。今後は「指導者を育て、技術を教えていきたい」と言う松橋さん。「もっと多くの人に、マールアートの魅力に触れ、親しんでもらいたい」と思いを込める。



マールアート教室で指導する松橋さん(左)(令和6年12月29日、自宅)

【広告】

関節の痛み・変形、痺れ、生活習慣病

専門家が丁寧に診察いたします。

	月	火	水	木	金	土
	整	整	整	内	整	整内
8:45~11:30	●	●	●	●	●	●
13:45~17:30	●	●	—	●	●	—

整=整形外科 内=内科

八幡平中央 整形外科・内科 クリニック

八幡平市大更25-117-2 TEL.0195-76-2318

■編集後記

▽子どもの遊び場を紹介する企画「ドコいこっか」(19頁参照)。市内のご家族に写真撮影の協力をいただきました。毎号、多くの人に協力いただき、広報を発行しています。この場を借りてお礼いたします。(智)▽キラリの松橋さんを取材。地区のイベントで松橋さんご夫妻がマールアート体験教室を開いていたのがきっかけで声を掛けさせていただきました。お2人のアドバイスを受けながら作り上げたりは、自宅の玄関に飾っています。(千)

編集作業の支障になっていり、綴り用のパンチ穴は廃止しました。代わりに、穴開け作業の目印として、本誌の左端中央部に三角マーク「▲」を表記したので、参考にしてください。

